

上映スケジュール

- 12月1日(土) 10:00- 招待① 19:00- 長編①
- 12月2日(日) 9:45- 長編② 19:00- 短編①
- 12月3日(月) 10:00- 長編③ 19:00- 特別①
- 12月4日(火) 10:00- 特別② 19:00- 短編②
- 12月5日(水) 10:00- 長編④ 19:00- 短編③
- 12月6日(木) 10:00- 短編④ 19:00- 長編⑤
- 12月7日(金) 10:00- 長編⑥ 19:00- 短編⑤
- 12月8日(土) 10:00- 短編⑥ 19:00- 長編⑦
- 12月9日(日) 9:45- 特別③ 19:00- 短編⑦
- 12月10日(月) 10:00- 特別④ 19:00- 招待②
- 12月11日(火) 10:00- 招待③ 19:00- 短編⑧
- 12月12日(水) 10:00- 長編⑧ 19:00- 短編⑨
- 12月13日(木) 10:00- 特別⑤ 19:00- 長編⑨
- 12月14日(金) 9:45- 特別⑥ 19:00- 長編⑩

上映後各賞授賞式

トークイベント

- 特別①「ドキュ・メント」
内山直樹、松井至、竹岡寛俊、西村大助
- 特別③「東京オリンピック」
中垣恒太郎(専修大学教授)
- 特別④「中国インディペンデント映画の現在」
鳥本まさき(中国映画研究)
- 特別⑤「ドック・ノマズ」
安岡卓治(日本映画大学教授)、藤岡朝子(山形国際ドキュメンタリー映画祭理事)
- 特別⑥「没後25年映画作家・野田真吉特集」
トークゲスト来場予定(進行 neoneo 編集室 高瀬郁人)
- 招待①「審査員長・原一男 次は(水俣)にチャレンジ！」
原一男(映画監督)
- 招待②「映画になった男」
金子遊(批評家・映像作家)
- 招待③「追悼! 田村正毅(たむらまさき)」
伏屋博雄(元小川プロ・プロデューサー)
- *コンペ部門の上映では、上映後に監督らによる舞台あいさつがあります。他のプログラムでも、上映後にトークショーがある場合がございます。詳細は公式サイトをご覧ください。 tdff-neoneo.com
- *お問い合わせメール tdff.neoneo@gmail.com
- *「東京ドキュメンタリー映画祭」では、映画祭を支えて下さるサポーターを、クラウドファンディングで募集しています。10/31まで実施中です。詳細は Motion Gallery のサイトを覗き下さい。
<https://motion-gallery.net/projects/TDFF>

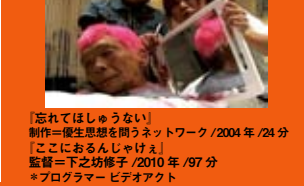
特別① ドキュ・メント



12.3(月) 19:00-
上映予定作品:「ドキュメント2018 総集編」
内山直樹「マッドレスラー」予告編ほか
*プログラマー 松井至

「生身の人間が一番白い」というコンセプトを掲げ、品川宿で開催されているドキュメンタリーの祭典「ドキュ・メント」。取材対象者がライヴ登壇者になって、社会に向けて言葉を投げかける場を作っている。この特別プログラムでは、撮影現場の映像を見せながら、制作メンバーが社会とドキュメンタリーの関係性についてプレゼン。後半は「ドキュメンタリーのレントゲン図」を発明したデザイナーの SOMEONE'S GARDEN (西村大助)を招聘し、作家/作品/撮影対象の「運命」を図解し、ドキュメンタリーとは何かを大解剖する。

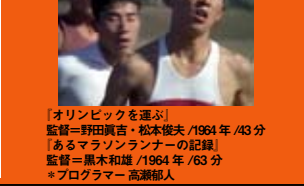
特別② 強制不妊手術を問う



12.4(火) 10:00-
設立30周年記念トークイベント
「忘れてほしくない」
制作=優生思想を問うネットワーク/2004年/24分
「ここにおるんじゃけん」
監督=下之坊修子/2010年/97分
*プログラマー ビデオアクト

昨年あらためて問題となった「強制不妊手術」、「優生思想」を問い、2作をあわせて上映。生後1週間で脳性マヒになり、20才の頃、強制不妊手術を受けさせられた佐々木千津子さんは、90年代後半から積極的に強制不妊手術の実態を語ってきた。『忘れてほしくない』『ここにおるんじゃけん』は後遺症に悩みながらも24時間介護を受け、ネコと共に自立生活をする彼女の日常、その生き方に迫る。20年間、自主制作映像の普及・流通のサポート活動等をおし、インディペンデント・メディアの状況に変革をもたらしたビデオアクトが今こそ選ぶ注目作!

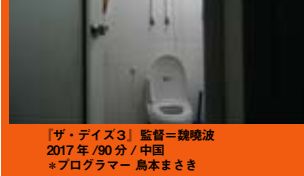
特別③ 昭和の輝き 東京オリンピック



12.9(日) 9:45-
「オリンピックを運ぶ」
監督=野田真吉・松本俊夫/1964年/43分
「あるマラソンランナーの記録」
監督=黒木和雄/1964年/63分
*プログラマー 高瀬郁人

2年後に控えた東京オリンピック開催記念スポーツ映画特集。昭和の戦後復興の象徴、1964年の東京オリンピックを記録映画を通じて回顧する。『オリンピックを運ぶ』は、高度成長期のダイナミズムを感じさせる大迫力の運輸工程と、寡黙に作業をこなす労働者の姿がコントラストを織りなす。『あるマラソンランナーの記録』は、東京オリンピックを見据え、故障しがちな体にも拘わらず、激しいトレーニングに励む孤独なアスリート・君原健二を追う。PR映画という枠の中で、若き頃の野田真吉・松本俊夫・黒木和雄がオリンピックをどう捉えたか、彼らの葛藤の記録でもある。

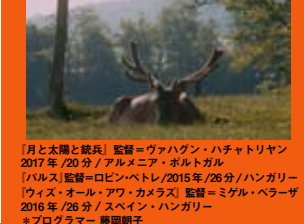
特別④ 中国インディペンデント 映画の現在



12.10(月) 10:00-
「ザ・デイズ3」 監督=魏曉波
2017年/90分/中国
*プログラマー 鳥本まさき

政府による検閲や規制をかいくぐり、中国の埋もれた歴史やナマの庶民の生活に光を当ててきた中国インディペンデント・ドキュメンタリーの世界。今日に至るまでワン・ピンをはじめ、魅力的な多くの映像作家を輩出してきた。今回紹介するウェイ・シャオポー監督の『ザ・デイズ3』は、監督自身とガールフレンドの生活を、7年間にわたり撮影し続けた実験的なシリーズの第三作。ひと組の男女の結婚、妊娠、そして出産…その全てにカメラが回るとき、“日々の記録”は珠玉のドキュメンタリーのワンシーンへと昇華する!

特別⑤ 「ドック・ノマズ」 国境を越える



12.13(木) 10:00-
「月と太陽と鉄兵」 監督=ヴァハグン・ハチャトリヤン
2017年/20分/アルメニア・ポルトガル
「ハルス」監督=ロビン・ベレ/2015年/26分/ハンガリー
「ウィズ・オール・ア・カメラス」 監督=ミゲル・ペラー
2016年/26分/スペイン・ハンガリー
*プログラマー 藤岡朝子

リスボン、ブダペスト、ブリュッセルの3大学連携によるドキュメンタリー制作の修士コース「ドック・ノマズ」。全世界から集う若者が、移動しながら二年間を過ごす「ドキュメンタリー」と「遊牧民」を掛けた名称のプログラムから、これまで59カ国の150名以上が巣立った。『ゲンボとタシの夢見るプータン』の共同監督をはじめ、卒業後異国のクラスメート同士が互いの作品のプロデュースや編集を担う合作が次々誕生している。昨作品川宿ドキュメントのお寺で初上映した2作に新作を加え、国境を越えた出会いと教育で豊かになるドキュメンタリーの今を考える。

特別⑥ 没後三五年 映画作家 野田真吉特集



12.14(金) 9:45-
「この雪の下に」 1956年/33分
「マリン・スノー-石油の起源-」 1960年/25分
「ふたりの長距離ランナーの孤独」 1966年/9分
「冬の夜の神々の宴-連山の霜月祭」 1970年/37分
*プログラマー 高瀬郁人

映画作家・野田真吉(1916-1993)の多岐にわたる業績の一部を概観するプログラム。山形県大井沢を舞台に、農山村に生きる人々の冬の厳しい生活の諸断面を捉えた『この雪の下に』。石油生成の起源をテーマにした自然科学の解説映画が構想されていたが、これを一篇の叙事詩的映画に構成した『マリン・スノー』。『ふたりの長距離ランナーの孤独』は奇跡的に撮影された東京五輪マラソン競技中のハプニング映像を活用した実験的映画。『冬の夜の神々の宴』は長野県下栗部部落に伝承されている「霜月まつり」を記録した。

映画祭運営: 伏屋博雄 金子遊 佐藤寛朗 若林良 佐藤奈緒子 高瀬郁人 山本麻都香 デザイン: 菊井崇史 WEBデザイン: 古谷里美

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿道コモショップ左入

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・整理券制

東京都新宿区新宿3丁目35-13

JR 新宿駅 東南口 徒歩3分 東口 徒歩5分

●各回定員入れ替え制●上映開始後のご入場は、お断りさせて頂く場合がございます●満席の場合は入場をお断りさせて頂く場合がございます●作品により画像、音声が必要しも良好でない場合がございます。あらかじめご了承下さい。

東京ドキュメンタリー映画祭 Tokyo Documentary Film Festival 2018

映画、テレビ、ネット動画の枠をこえた、ドキュメンタリーの祭典!

長編10本、短編24本のコンペティション作品がグランプリを競います。

審査員による選考の他、みんなで選ぶ「観客賞」も。あなたも「イチ押し」を選んで、入賞をプッシュ!

ニコニコドキュメンタリーから賞金が出る「あなたが審査員! 予告編大賞」も同時開催。視聴者がコンペ部門の予告編から受賞作を決めます。

12月1日(土) - 14日(金) 新宿 K's cinema

長編コンペティション審査員
原一男(審査員長・映画監督)
中野理恵(映画配給)
伏屋博雄(映画プロデューサー)

短編コンペティション審査員
筒井武文(映画監督)
金子遊(批評家・映像作家)

主催: neoneo 編集室
お問い合わせメール: tdff.neoneo@gmail.com



公式HP: tdff-neoneo.com
twitter: @TDFF_neoneo Instagram: [tdff.neoneo/](https://www.instagram.com/tdff.neoneo/)
Facebook: <https://www.facebook.com/tdff.neoneo/>

